

市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（松尾中学校）

期 日：平成 27 年 12 月 1 日（火） 19 時 00 分～19 時 55 分

場 所：松尾中学校 1 階会議室

参加者：松尾中学校保護者 8 名、教頭・教諭 1 名

【意見内容と回答】

○説明者側から、「方向性として適正化はやむを得ないと考えているのか、それとも絶対反対と考えているのか。」教えて欲しいという問いに対して。

◎男性（会長）

話を聞いて、少子高齢化もあるので、仕方がないと思っている。地域的に広いので真ん中へんにもっていくという絵になっていたの、しょうがないと思っている。3 年先ということで、直近かなという気もするが、まあ仕方がないかなという気がしている。

○教育総務課長

市長部局との調整というのは、一番はお金のことなので、山武市の今の財力で学校を建設することができるかどうかという調整をしている。基本的には、使える新しい学校があればそれを使っていく。新しい土地を求めて新しい校舎と建てるのはない。

◎男性

建物の老朽化について、具体的にこの学校はというのはあるのですか。

○教育総務課長

成東中学校の校舎が 50 年以上経過している。保護者から要望書の提出があった。学校規模の適正化の中で回答させていただきという話をしている。成東中学校については、減少幅は少ないので、ある程度の人数で推移はしていくが、老朽化の観点から考えて建て替えなければならない時期には来ている。将来的に 6 クラス位の学校でそのまま存続していてもいいのか、もう少し規模が大きい方がいいと考えているので、成東東中学校との統合を考えている。

◎男性

統合する学校同士でコミュニケーションが必要だと思う。

○教育総務課長

具体的な案を年明けにはお示しする。こういった形で進めていっていいという合意形成がなされた後に、統合のための準備としてそういう機会を増やしていく。

◎女性

松尾中と蓮沼中が統合する組み合わせは決定なのか。39 年度の推計をみると松尾中と蓮沼中を足しても、27 年度の松尾中の人数とあまり変わらない。そうするとクラス割は今の状況と変わらないと思う。今と変わらない状況が 10 年後にまた訪れる。今、統合する意味があるのか。

○教育総務課長

市役所内の各部署で、人口減少抑える取り組みメニューを出している。それをやったとしても、今の規模を維持するのは相当困難なことになってしまう。子どもの数が減って行くのは避けられない状況。この組み合わせをしたとしてもおっしゃるように、今の規模を維持するかしないか位の規模に、10 年後

にはなってしまう。望ましい規模にするのは、もっと学区を広げて、3校を1校にとか、最終的には1校でいいのではないかという、山武市全体の生徒数になってしまう。そうなったときに、山武市としてこの面積で学校が1校でいいのか。学区としていいのかという議論になってしまう。一つの中学校区のエリアはあるのではないかと考えている。それと生徒数のバランスになるのではないか。隣接する学区を調整するという方法もあるかもしれないが、全体が小さいので、小さいパイをみんなで奪いあう形になってしまう。この話し合いを続けていって、どうい形が望ましいのかを決めていければと思っている。

◎女性

今のところこの組み合わせで考えていると。

○教育総務課長

地域のまとまりを考えるとこの組み合わせになってしまう。

◎男性

仕事の世界でも自宅でインターネットを介して仕事をするというのがありますので、同じようにインターネットを介して、双方向の授業をするというのも考えていったらどうか。人口が減少していくのであれば、統合が追い付かないのではないか。

○教育総務課長

1校にするというのではないのですが、数だけを追いかけるとそうになってしまうので、それは学区の考え方とか学校のエリアの考え方からすると、あり得ない話だと思う。今お話をいただいたとおり、ICTを使って疑似的な集団としての学びは可能だと思う。ICT環境を市は整えているので、利活用を考えていかななくてはならないと思っている。

◎女性

統合するときに、統合した学校の特色を出すのか、山武市としての特色を出すのか。例えば第1中学校・第2中学校みたいな形になるのか。部活もある部活ない部活がある。部活で学校を選んでいる面もあるので、統合した場合にそれが引き継ぎになると、統合したけどももっと遠い中学校へ行く子ども出てくる。山武市としてどこの中学校でも同じ部活があるのが理想だと思っている。

○学校教育課長

統合前に統合準備委員会（仮称）を立ち上げます。環境によって市内で受けられる教育の質や選択肢が変わるのは望ましくないので、今後十分検討し、地域の声を聞きながら進めていきたい。

◎女性

小学校が統合すると6校になる。山武市の陸上競技会はどうなるのか、13校と6校では子ども達の競い合い方も変わってくる。

○学校教育課長

市の中に体育研究部という組織がある。体育研究部が、13校が集まればそれなりの教育効果があるだろうということで開催している。数が減ったから無くすのではなくて、行事そのものが現実の中で教育効果があるかどうかでの判断となる。教育効果を掘り下げて再検討することにより、質のいい教育を展開するための一つのきっかけとなると思う。